



平成30年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月11日

上場会社名 株式会社デュアルタップ
 コード番号 3469 URL <http://www.dualtap.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白井 貴弘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 本田 一郎

TEL 03-6893-0001

四半期報告書提出予定日 平成30年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第3四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	8,407	6.9	600	65.9	552	98.8	361	101.0
29年6月期第3四半期	7,868	58.9	362	17.8	277	9.3	179	11.3

(注) 包括利益 30年6月期第3四半期 361百万円 (104.5%) 29年6月期第3四半期 176百万円 (9.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第3四半期	107.13	103.86
29年6月期第3四半期	55.18	54.51

(注)平成30年2月9日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第3四半期	5,750	1,717	29.8
29年6月期	5,744	1,386	24.0

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 1,711百万円 29年6月期 1,380百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		0.00		30.00	30.00
30年6月期		0.00			
30年6月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成30年2月9日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。平成29年6月期の配当金については、当該株式分割が行われる前の数値で記載しており、平成30年6月期(予想)の配当金については、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,289	6.1	463	2.1	388	12.3	264	20.2	78.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年2月9日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期3Q	3,391,200 株	29年6月期	3,370,500 株
期末自己株式数	30年6月期3Q	402 株	29年6月期	288 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期3Q	3,376,643 株	29年6月期3Q	3,262,104 株

(注)平成30年2月9日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策による景気の下支えにより、企業収益が好調となり、さらには賃上げによる雇用環境の改善に繋がり、緩やかな回復基調が続いております。一方で、海外経済は緩やかな回復が期待されておりますが、アジア新興国等における政策の不確実性、金融資本市場の変動等による影響に留意が必要な状況にあります。

当社グループの属する不動産業界は、東京オリンピック開催や震災復興等の影響を受け高騰した建築費は高止まりの傾向にあります。2017年度(2017年4月～2018年3月)の首都圏マンション市場動向は、発売戸数が4年ぶりに増加に転じ、㎡単価が6年連続の上昇となりました(株式会社不動産経済研究所調べ)。東京都は単身世帯を中心とした人口の増加による影響で賃料が継続して高水準を維持しているため、不動産の投資利回りが安定しております。また、継続している住宅ローンの低金利等が支えとなり、購入需要は堅調に推移しております。

このような事業環境の中、当社グループは、自社で企画・開発したマンション「XEBEC(ジーベック)」の分譲を行ってまいりました。「XEBEC(ジーベック)」は、東京23区内、かつ最寄り駅から徒歩10分以内の立地と、高級感ある仕様をコンセプトとしております。この開発コンセプトに加え、自社で賃貸管理・仲介事業を行い、入居率を向上させることで「XEBEC(ジーベック)」の投資価値を一層向上し、長期にわたり安定した賃貸需要が見込める収益不動産として、投資家や入居者等に対する多様な価値の提供に努めてまいりました。また、国内投資家だけでなくアジア圏の富裕層を中心に、海外の顧客層拡大にも取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高84億7百万円(前年同期比6.9%増)、営業利益6億0百万円(前年同期比65.9%増)、経常利益5億52百万円(前年同期比98.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億61百万円(前年同期比101.0%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(不動産販売事業)

不動産販売事業においては、前期に引続き投資用マンション「XEBEC(ジーベック)」の分譲に加え、函館市に所有していた賃貸用ホテルを売却する等、投資用マンション以外の不動産を販売しております。

以上の結果、売上高72億70百万円(前年同期比5.4%増)、セグメント利益4億85百万円(前年同期比81.8%増)となりました。

(不動産賃貸管理・仲介事業)

不動産賃貸管理事業においては、自社開発物件の分譲に伴い管理戸数が増加しております。また、地域の不動産仲介業者とは、システムを活用して情報発信の効率化を図り、また、入居見込み客へ直接アプローチする等、当社管理物件の認知度の向上に努めてまいりました。不動産仲介事業においては、当社子会社の株式会社Dualtap Property Managementにて、インターネット媒体による集客の見直しを図り、業務の効率化及び収益力の拡大を図ってまいりました。

以上の結果、売上高10億7百万円(前年同期比10.7%増)、セグメント利益98百万円(前年同期比19.6%増)となりました。

(海外不動産事業)

海外不動産事業においては、当社子会社の株式会社Dualtap Internationalにて、タイ及びイギリスの不動産紹介ビジネスに注力し、活動エリア及び顧客層の拡大に努めてまいりました。また、DUALTAP BUILDING MANAGEMENT SDN. BHD.にて、マレーシア国内の建物管理事業を推進してまいりました。

以上の結果、売上高1億29百万円(前年同期比107.6%増)、セグメント利益10百万円(前年同期比128.1%増)となりました。

なお、当社グループの主力事業である不動産販売事業における収益物件の販売は、顧客への物件引渡しをもって売上が計上されます。そのため、物件の竣工や引渡しのタイミングにより四半期ごとの業績に偏重が生じる傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から6百万円増加し57億50百万円となりました。総資産の増加の主な要因は、仕掛販売用不動産が8億67百万円減少した一方で、現金及び預金が3億46百万円、販売用不動産が3億23百万円、リース資産（純額）が1億32百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末から3億24百万円減少し40億33百万円となりました。負債の減少の主な要因は、営業未払金が2億23百万円、未払金が1億13百万円増加した一方で、短期借入金が5億10百万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）が2億8百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末から3億30百万円増加し17億17百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が3億61百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は29.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年8月10日の「平成29年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	966,182	1,312,243
営業未収入金	28,559	21,612
販売用不動産	1,243,893	1,567,759
仕掛販売用不動産	2,029,590	1,161,595
前渡金	34,062	84,738
未収入金	39,928	90,200
繰延税金資産	6,185	9,134
その他	73,132	48,473
貸倒引当金	△950	△2,444
流動資産合計	4,420,583	4,293,313
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	596,324	559,048
土地	599,848	599,848
リース資産(純額)	9,524	141,975
その他(純額)	16,838	27,958
有形固定資産合計	1,222,535	1,328,830
無形固定資産	7,255	13,618
投資その他の資産		
差入保証金	21,249	32,452
投資有価証券	12,000	22,000
繰延税金資産	—	492
その他	60,671	60,059
投資その他の資産合計	93,921	115,004
固定資産合計	1,323,712	1,457,454
資産合計	5,744,295	5,750,768

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	17,776	241,554
短期借入金	1,488,690	978,129
1年内償還予定の社債	76,120	68,400
1年内返済予定の長期借入金	963,854	353,876
リース債務	2,426	22,255
未払金	102,962	216,321
未払法人税等	80,278	108,251
前受金	330,869	116,183
その他	100,099	131,382
流動負債合計	3,163,077	2,236,354
固定負債		
社債	742,900	758,800
長期借入金	373,517	774,698
受入保証金	68,815	131,850
リース債務	8,080	112,024
資産除去債務	—	19,171
繰延税金負債	957	—
その他	409	409
固定負債合計	1,194,679	1,796,953
負債合計	4,357,756	4,033,307
純資産の部		
株主資本		
資本金	205,576	207,199
資本剰余金	139,372	140,995
利益剰余金	1,038,690	1,366,733
自己株式	△171	△279
株主資本合計	1,383,467	1,714,648
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,248	△3,508
その他の包括利益累計額合計	△3,248	△3,508
新株予約権	6,320	6,320
純資産合計	1,386,538	1,717,460
負債純資産合計	5,744,295	5,750,768

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
売上高	7,868,098	8,407,114
売上原価	6,790,042	6,195,340
売上総利益	1,078,055	2,211,773
販売費及び一般管理費	715,895	1,611,087
営業利益	362,160	600,686
営業外収益		
受取利息及び配当金	21	19
業務受託手数料	—	600
受取保険金	885	803
助成金収入	5,371	420
その他	902	742
営業外収益合計	7,180	2,586
営業外費用		
支払利息	66,464	41,532
株式公開費用	15,692	—
支払手数料	9,008	7,680
その他	255	1,454
営業外費用合計	91,421	50,666
経常利益	277,919	552,606
特別利益		
固定資産売却益	—	540
特別利益合計	—	540
特別損失		
固定資産除却損	—	30,565
特別損失合計	—	30,565
税金等調整前四半期純利益	277,919	522,580
法人税、住民税及び事業税	91,698	165,234
法人税等調整額	6,233	△4,399
法人税等合計	97,931	160,835
四半期純利益	179,987	361,745
親会社株主に帰属する四半期純利益	179,987	361,745

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	179,987	361,745
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,190	△259
その他の包括利益合計	△3,190	△259
四半期包括利益	176,797	361,485
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	176,797	361,485

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期 連結損益計算書 計上額(注)2
	不動産販売 事業	不動産賃貸管 理・仲介事業	海外不動産 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,896,331	909,543	62,223	7,868,098	—	7,868,098
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	10,000	10,000	△10,000	—
計	6,896,331	909,543	72,223	7,878,098	△10,000	7,868,098
セグメント利益	266,935	82,064	4,791	353,791	8,368	362,160

(注) 1. セグメント利益の調整額8,368千円は、セグメント間取引消去8,368千円であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年7月1日至平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期 連結損益計算書 計上額(注)2
	不動産販売 事業	不動産賃貸管 理・仲介事業	海外不動産 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,270,889	1,007,073	129,151	8,407,114	—	8,407,114
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,270,889	1,007,073	129,151	8,407,114	—	8,407,114
セグメント利益	485,208	98,149	10,926	594,283	6,402	600,686

(注) 1. セグメント利益の調整額6,402千円は、セグメント間取引消去6,402千円であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。